

2015年3月12日

各 位



『『国連生物多様性の10年』中間年に向けたキックオフ・フォーラム』での事例報告について

積水化成成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原 正人）は、2月20日に東京都千代田区の経団連ホールで開催された、環境省と「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会主催の「『国連生物多様性の10年』中間年に向けたキックオフ・フォーラム』において、民間企業から唯一、「積水化成成品グループで行う『グリーンウェイブ』」という題目で、積水化成成品グループのグリーンウェイブ活動を中心に環境保護活動についての事例報告を行いました。

当社グループは、CSR宣言「人と環境を大切に 夢をふくらませる積水化成成品グループ」の趣旨にそって、2012年度から、国連が定める「生物多様性の日・5月22日」を中心に各地域で植樹などを行うことにより、地球上を東から西へと緑の波を広げようという「グリーンウェイブ」活動に参加しています。

この度、当社グループの活動が、誰にでも取り組みやすい活動で他企業の参考になる、という理由で民間企業から唯一、公益社団法人国土緑化推進機構の推薦を受け、「『国連生物多様性の10年』中間年に向けたキックオフ・フォーラム』において活動事例の報告を行いました。

「積水化成成品グループで行う『グリーンウェイブ』」という題目で、当社創立50周年の記念植樹、全国植樹祭への参加、里山保全活動、外来植物駆除活動、グループ全体で推進しているグリーンカーテン活動など、積水化成成品グループの環境保護活動について事例報告を行いました。

当日は関係者等約100名が参加し、生物多様性に関するこれまでの成果と課題を共有し、今後の取り組みについて考える機会が得られた有意義な場となりました。

今後も、積水化成成品グループをあげて環境保護活動に取り組んでいきます。



フォーラムでの報告風景

<お問合せ先>

積水化成成品工業株式会社 総務グループ（広報）

TEL：06-6365-3014 E-mail：m01271@sekisuiplastics.co.jp

以 上